



平成22年7月12日

各位

上場会社名 さくらインターネット株式会社
代表者 代表取締役社長 田中 邦裕
(コード番号 3778)
問合せ先責任者 取締役 川田 正貴
(TEL 06-6265-4830)

業績予想の修正及び 特別損失(資産除去債務費用)の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年4月26日に公表した業績予想を下記の通り修正するとともに、特別損失(資産除去債務費用)が発生する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,200	430	420	240	5,531.48
今回発表予想(B)	4,200	540	530	280	6,453.39
増減額(B-A)	—	110	110	40	
増減率(%)	—	25.6	26.2	16.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	3,820	271	254	47	1,068.21

修正の理由

1. 業績予想の修正理由

(1) 第2四半期累計期間

売上高は、ほぼ計画通りに推移しており、当初計画から変更いたしません。

営業利益および経常利益については、ソーシャルアプリやモバイルコンテンツ市場の旺盛な需要を背景に、収益性の高い専用サーバーサービスなどのホスティングサービスの売上構成比が当初計画以上に高まったことと、当第1四半期会計期間で予定していた広告宣伝費や人件費などの経費支出が一部、第3四半期以降にずれ込む見込みとなったことにより、上方修正しております。

四半期純利益についても、「資産除去債務に関する会計基準」に伴う影響額69,747千円を特別損失として計上するものの、経常利益の大幅な増加により、上方修正しております。

(2) 通期

経費支出の年間総額は当初予算見積りの通りとなる見込みから、通期の業績予想は据え置きといたします。

2. 特別損失(資産除去債務費用)の計上

平成20年3月31日付「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号)及び同適用指針(企業会計基準適用指針第21号)の適用に伴い、期首時点で発生する影響額を特別損失に計上いたします。これは、当社が運営するデータセンターと事務所において、賃貸借契約終了後の原状回復義務に係る費用であります。

なお、資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う特別損失の計上は、69,747千円となります。

(参考)有形固定資産 40,045千円、資産除去債務 77,993千円

以上